

陸上自衛隊 第10音楽隊コンサート

- と き / 1月14日(土)開演 14:00
- と ころ / 美濃市文化会館
- 演 奏 / 陸上自衛隊第10音楽隊
- 入場料 / 無料 整理券
12月21日(水)より以下の場所で整理券を配布
(1人5枚まで)
・美濃市文化会館
・中央公民館
・美濃市内各地域ふれあいセンター
※3歳以上の方は整理券が必要



2022 CLASSICAL CONCERT ④中野振一郎コンサート

チケット好評発売中

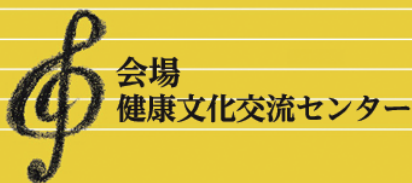
- と き / 12月18日(日)開演 16:00
- と ころ / 美濃市健康文化交流センター
- 入場料 / 一般2,000円 高校生1,000円
小中学生無料(整理券必要) **自由席**
※未就学児は入場できません
- 演 奏 / 中野振一郎(チェンバロ)

ピアノの前身であるチェンバロの演奏と、中野振一郎の軽快なトークで、聞く人をバロック時代にいざないます。



※都合によりイベントの開催を中止する場合があります

文化会館 休館日 / 12/6(火)・13(火)・20(火)・27(火)・29(木)・30(金)・31(土)



全公演 共通

開場 13:00 一般 2,000円
開演 13:30 高校生 1,000円
終演 15:00 (予定) 小中学生 無料(要予約)
※ 全て税込
※ 未就学児のご入場はご遠慮させていただきます。

主催:ひまわりプロジェクト

申し込み・問い合わせ先

ひまわりプロジェクト (代表 家田)

☎ 090-1276-8338

オンラインご予約窓口
<https://finearts-and-music.com/EventReservator/>



美濃市地域の絆づくり事業

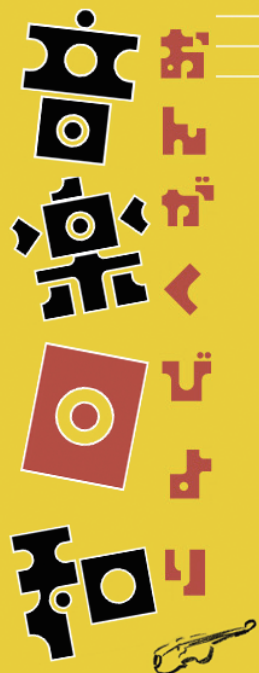
12月24日(土) ピアノトリオ de Christmas

J.ブラームス ピアノ三重奏曲第1番 口長調 作品8
F.ショパン 即興曲第4番 嬰ハ短調 Op.66
「幻想即興曲」(ピアノソロ) ...他



Violin 川上裕司 / 東京藝術大学卒、同大学院音楽研究科修士課程修了
東京藝術大学非常勤講師を経て名古屋フィルハーモニー交響楽団入団 現在2ndヴァイオリン次席奏者
Cello 山田真吾 / 岐阜大学工学部卒 ハンガリー国立リスト音楽院修了
日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズにて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演 岐阜県芸術文化奨励賞
Piano 前田祐里 / 3歳よりピアノを始める ドイツ・マンハイム音楽大学卒 ドイツ国家演奏家資格取得
様々な国際コンクール入賞 ヨーロッパ各地でリサイタルを行う

【第4土曜日】





図書館へ行こう!

http://www.lib.city.mino.gifu.jp/ ☎35-2280
〒501-3701 美濃市殿町1571-2 小倉公園内

休館日 12/5(月)・12(月)・19(月)・23(金)・26(月)・28(水)～31(土) 1/1(日)～4(水)・10(火)・16(月)・23(月)・27(金)・30(月)

一般書 *****

『地図帳の深読み 鉄道編』
今尾 恵介//著 帝国書院 【448.9/イ】



学校地図帳を発刊し続けている帝国書院と、地図研究家の今尾恵介による地図雑学本です。地形に従い地形を制す「鉄道」や、「鉄道」栄枯盛衰、「鉄道」から見てくる外国の姿などを収録しています。鉄道の奥深き世界へ、さあ出発進行〜♪

児童書 *****

『おすしがふくをかいにきた』
田中 達也//作 白泉社 【E/タ】



おすしが服を買いにお店にやってきました。数あるすしネタから、何に変身するのでしょうか？アイスクリームやいちごたちも、愉快なお買い物を楽しみ…。身近なものを本物そっくりの何かに見立てる、楽しい写真絵本です。

【今月の特集のご案内】

《一般書》

・1階:

「2022ランキング」

年末恒例の特集です。今年、読んだ本はランキングに入っているのでしょうか。

2022ランキング
『鑑定人氏家京太郎』
中山 七里//著
双葉社



「人権を考える」

12/4～12/10は、
人権週間です。

人権を考える
『ジェンダーのとびらを開こう』
村田 晶子 他//著
大和書房



「カルチャー～今年の映画本～」

本を読む楽しさだけでなく、
映画として物語を楽しむのも
いいですね。

カルチャー
～今年の映画本～
『百花』
川村 元気//著
文芸春秋



「ブックポケット」、「経済書～お金～」、「郷土の頁」のコーナー等もご利用ください。

・2階:

「冬の世界」

冬のあれこれ集めました。

冬の世界
『雪の結晶』
ケン・リフレクト//著
河出書房新社



《児童書》

絵本：「クリスマス2022」
「絵本ランキング」

児童書：「児童読み物ランキング」

来年もたくさんの本と出合えるといいですね。

クリスマス2022

『はらべごサンタのクリスマス』
はらべこめがね//作 ほるぷ出版



絵本ランキング

『ノラネコぐんだんラーメンやさん』
工藤 ノリコ//著 白泉社



読み物ランキング

『だいとかいのおばけずかん』
斉藤 洋//作 講談社



【こどもとしょうかんののご案内】

クリスマスの絵本を
借りて、クリスマス飾り
をもらいましょう。
(12月1日から、無くなり次第終了)

ここから
ホームページへ
アクセスできます



美濃和紙の里会館からのお知らせ

※企画展の内容や期日等は変更になる場合があります。

開催中の企画展

2022公募 第35回全国和紙画展 ～12月19日(月)まで

全国より多数の応募があった作品から、厳正な審査の結果選ばれた和紙画作品82点と招待作品2点を展示しています。

次回企画展

濱坂幸代 森の妖精 ～美濃和紙と楮のあかり～ 12月22日(木)～令和5年3月6日(月)まで

自然や植物をモチーフに「和紙のあかり」を展示します。美濃手すき和紙を使った新作オリジナル作品を中心に、幸せを灯す濱坂幸代のあかりの世界をお楽しみください。

会館の案内

○開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

○休館日/毎週火曜日および祝日の翌日、年末年始(12/28～1/3)

○入館料/大人500円、小中学生250円(団体割引あり)、

市内の小中学生と70歳以上の方、要介護認定者、身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は入館料無料

※企画展の詳細など会館に関する問い合わせは、美濃和紙の里会館(☎34-8111)または会館のホームページをご覧ください。

ここから
ホームページへ
アクセスできます





10/21

美濃中学校生徒がSDGsについて学びました



SDGsの説明を真剣に聞く生徒たち。

美濃中学校の1年生生徒115人がSDGsについて学びました。
市は、将来の美濃市を担う若い世代にもSDGsについて理解を深めてもらおうと北九州市立大学の真鍋和博教授によるオンライン授業を行いました。
真鍋教授は、貧困の社会問題や環境問題を交えながら、世界の現状や各国によるSDGsの取り組み事例を紹介しました。
授業を受けた生徒は、「世界の貧困や気候変動は、自分たちの生活が引き起こしている残念な気持ちになった。SDGsの大切さがわかった。」と感想を話しました。

10/23

美濃市民ふれあい消防祭が市内各所で行われました



年長児26人と消防団員約50人が元気に町並みをパレードしました。

美濃市消防団主催の「美濃市民ふれあい消防祭」が、市内各所で開催され、消防団員、地域住民が参加し、防災に対する意識を高めました。
7分団ある美濃市消防団のうち的美濃分団は、うだつの上がる町並みにて、消防車両の一般開放や美濃保育園児の鼓隊と共に啓発パレードを行いました。
建造物への延焼を防ぐための「水幕ホース」を使った訓練も行われ、消防団員の掛け声で水の壁ができること、園児が集まった地域住民から大きな歓声が上がりました。



しほろだより

海外文化交流事業帰町報告会 ～北海道士幌高等学校～

10月24日、海外文化交流でアメリカ合衆国コロラド州を訪れた士幌高校の2年生5名が高木町長らに活動を報告しました。

新型コロナウイルスの影響により、3年振りの開催。9月21日から10日間の日程で、アメリカコロラド州でのホームステイやスモークヒル高校の生徒との交流を通じて、日本ではできない体験やアメリカの文化を学びました。

報告会では、スライドを使って学校生活や行事、生活環境、ホームステイ先のホストファミリーなどについて報告。「自信を持ってコミュニケーションが取れるようになった」「生活の違いを肌で感じたが、言語の壁を越えて交流ができた」など一人ひとり発表をしました。

高木町長は「今回の経験を残りの高校生活、今後の人生に大きく生かしてほしい」と生徒たちを激励しました。



10/27

全国重要無形文化財保持団体協議会が15年ぶりに美濃で開催



大会の式典で武藤市長は、「手を取り合って伝統文化を守っていききたい」とあいさつしました。

全国重要無形文化財保持団体協議会美濃大会が美濃市健康文化交流センターで開催され、全国各地の団体関係者や文化庁職員など約140人が参加しました。

同協議会は、国の重要無形文化財として認定を受けている16団体と24の関係市町村で構成されており、15年ぶりとなった同大会の総会では、本美濃紙保存会の倉田真さんによる同保存会の活動報告や功労者表彰などが行われました。

また、同大会に合わせて岐阜市の「みんなの森ぎふメディアコスモス」では、「第28回重要無形文化財保持団体秀作展」が開催され、訪れた人たちは各保持団体が出展した伝統工芸品に魅了されていました。

11/10

中有知小学校児童が今年も大根を販売



児童は「自分たちで育てた大根が全部売れたのでうれしい。」と笑顔で話していました。

中有知小学校3年生の児童38人が、自分たちで育てた12品種の大根約1000本を同校グラウンドで販売しました。

児童たちは、大根をたくさんの人に買ってもらうと、自分たちで品種名と味の特徴を書いたパネルを掲げて呼び込んだり、美味しい食べ方のレシピを配ったりして、積極的な販売活動を実施。午前10時に販売の合図が鳴ると、大根販売を楽しみに来場した多くの保護者や地域住民は、お目当ての大根が入ったケースに向かって一目散に買い求め、約20分で完売しました。

人権って何？ 幸せの在り方

武義高生

今、少しずつではあるがLGBTの考え方が広がっている。理解ある人達が増えていく中、まだ偏見があるのも事実である。私は考えただけでなく、法律など根本が変わらないといけないと考える。

私が夜、ニュースを観ている際に同性結婚について映像が流れていた。日本人の男性同士のカップルが、日本では結婚できないため同性の結婚が認められている国で結婚したというものだった。映像の中で男性は泣きながらLGBTの考え方が広がるよう話していた。私はなぜ日本では同性同士の結婚が認められていないのか不思議に感じた。結婚は幸せの一つの形だが、異性でないといけない理由はない。現に、テレビの中のカップルは幸せそうだった。

確かに、同性同士では子どもは産まれない。しかし、子どもを得ることだけが結婚の証ではない。子どもを産まない夫婦もいる。また自分で産めなくても、養子として子どもを授かることができる。異性でなければ子どもを幸せにできないことなんてない。愛を持って育てれば、同性だろうと幸せになるだろう。

今の日本では、LGBTの考え方は広がりがつつあるが、同性同士の結婚が認められていない。幸せの形はさまざまなのに国が決めてしまっている。そのせいで偏見が残ったままである。生産性がないからなどが同性の結婚を妨げる理由になってはいけない。結婚はお互いを支え、愛し合い家族になることであり、それは同性同士でも可能である。海外では同性同士の結婚やLGBTが広がっている。日本もこれらが認められれば、テレビの中の男性のように泣いて悩んでいる人も、幸せになれるはずである。

先人からの便り

戦時下の暮らし(1)

岡専旅館の史料調査

令和元年(2019)、美濃市史編纂室は美濃市魚屋町にある岡専旅館(写真1)の土蔵に眠る掛け軸や陶器などの美術工芸品に加え大量の帳面



【写真1】岡専旅館(美濃市魚屋町)

および文書類を調査しました。

岡専旅館については、明治16年(1883)に発行された『美濃の魁』(1883)に発行された『美濃の魁』という冊子(写真2)のなかで紹介されています。

この冊子は美濃国(岐阜県美濃地方)の名所土産の手引き書で、名所や土産が絵図でまた製造所や商店等が絵図や文書で紹介されています。そのなかに「岡専助」の名前とその住所「上有知魚屋町」が記された所(写真3)があります。

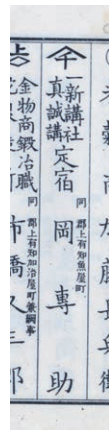
これによれば、現在の旅館名となる「岡専」は岡家当主の名前から取られたものようです。また名前の上には屋号紋(ヤマセン)とその下に「一新講社・真誠講定宿」とあります。この講社・講は、各地の神社仏閣を巡り参拝する同行者による団体であり、そこに集う人びとの定宿であったようです。

このように、岡家は江戸時代以来の家柄で元は塩問屋を営んでいたといわれていますが、明治時代のこの冊子が発行された頃には旅館業を営んでいました。そして今の岡専旅館に至っています。

また明治22年(1889)に市制町村制が施行され上有知村は上有知町となりますが、その初代町長は岡専助家の本家筋にあたる岡徳助という人です。



上【写真2】『美濃の魁』表紙裏
左【写真3】同誌本文より抄出



「大寶栄」の記録から

この岡専旅館が所蔵する多数の史料のなかに、厚さがおよそ20センチの分厚い帳面(写真4)がありました。これは当主の岡専助が、後のための覚えとして主に金銭の出納を記したものです。

この帳面の表紙には専助が名付けたと思われる表題が墨書されています。「大宝」の次の文字が経年劣化し読みづらいますが、「栄」と判読し



【写真4】「大寶栄」表紙

「大宝栄」と読みます。

この「大宝栄」の前半部には、昭和12年(1937)から同18年(1943)まで、日本国民が戦時下にあつた時の金銭出納の記録が残されていました。

昭和12年7月に中国北京郊外の盧溝橋附近で日中両軍が衝突(盧溝橋事件)、この事件を契機に日中両国の全面戦争(日中戦争)となります。

そして同16年(1941)12月の日本の真珠湾攻撃を機にアメリカ・イギリス・オランダ・中国等の連合国軍との戦争(アジア太平洋戦争)に拡大し、同20年(1945)8月15日の終戦まで続きました。

この戦時下、岡専助はじめ美濃町(現美濃市)の人びとの日常の暮らしは、戦争によってどのような非常がもたらされ、そして変化したの

でしょうか。この「大宝栄」をとおして、みていくことにしましょう。

兵士の出征

〔昭和12年8月15日の記録〕

- 一、金 五十銭 (名字略) 柳三君
- 出征、万国旗代岡専取替支 払ヒタリ

- 一、金 五銭 兵隊送りノ町旗
- ノ金ノ玉ヲ八木ニテ買ヒ万国 旗ノ代ト一緒ニ支払ヒタリ

- 一、金 十五銭 (名字略) 柳三君
- 出征ニ付送りノ旗二本ノ竹 代上条ニテ買ヒ岡専取替支 払

右の記録より、軍隊の一員として戦地へ赴く出征兵士がいたことが分かります。日中戦争の時下なので行く先は中国と思います。

また専助は町内の人たちと共に、「兵隊送り」の町旗や万国旗を準備しその代金合計70銭を取り替えて支払っています。なお『戦前の日本を知っていますか?』(百瀬孝監修)によれば、昭和12年頃は45銭あれば米が2キロ近く買えたそうです。

以上のことより出征兵士を見送る

会が行われていたようです。全国的にも昭和12年に始まった日中戦争以降、このような壮行会が盛大に行われるようになったといわれています。こうして戦争は段々身近なものとなっていくのでした。

国民貯蓄運動

〔昭和14年4月16日の記録〕

- 一、通帳一冊
- 記入金 一三〇円〇九銭
- 一、現金 二九円五六銭
- 以上預り

(据置三ヶ年)

国民貯蓄組合

(払戻開始期日十六・六・廿五)

〔注〕以下13軒の家名(略)と、家番号

(略)が記載されている。

右の記録より、「国民貯蓄組合」という団体があったようです。

日中戦争により戦費が急増し、国民が銀行や郵便局に預けた預貯金を戦費の一部に充てることが計画されます。このため貯金が奨励され、昭和13年に国民貯蓄運動が開始されます。この運動のために作られたのが国民貯蓄組合です。

専助は13軒の国民貯蓄組合員による預貯金130円9銭を預かっていますが、この一部も戦費に充てられたということです。

このように、戦費充当を目的に始まった国民貯蓄運動は、美濃町の人達の家計へも影響を及ぼすようになっていきました。

国防献金

〔昭和14年5月9日の記録〕

- 一、金八円八十銭 国防献金
- 警部補派出所へ差出す

右の記録にある「国防献金」とは、国民が国防のために軍部へ献金したもので、専助は献金を警察の派出所へ納めています。

先の国民貯蓄に国防献金も加わり、国へ金銭的奉仕をすることが徐々に求められるようになっていきました。

慰問袋

〔昭和14年9月26日の記録〕

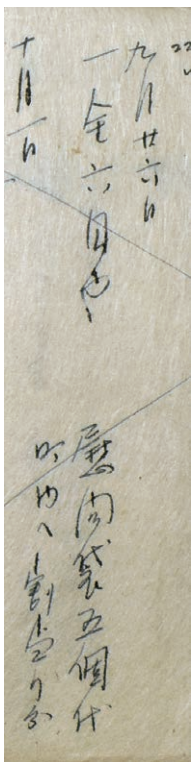
左の写真5は、実際に記されたものです。「九月廿六日」の日付で「一、金六円也 慰問袋五個代町内へ割当の分」と読むことができます。

右の記録にある「慰問袋」とは、戦地にいる兵士を慰めるために袋の中に娯楽物や日用品などを入れて送ったものです。その費用が各町内へ割り当てられていたようで、専助はその5個分の代金として6円を支出しています。

こうして、戦争は人びとの日常の暮らしに徐々に影響を及ぼしていったのです。

今回は昭和14年までをみましたが、次回は昭和15年から18年までの、更に戦争が拡大していくなかでの記録をみていきます。

美濃市史編纂室(高木和泉)



【写真5】「大宝栄」より抄出

市役所の年末年始の業務について

年末は12月28日(水)まで、年始は1月4日(水)からです。

市役所、教育委員会、地域ふれあいセンター、美濃病院などの業務は、12月29日(木)から1月3日(火)までの間、休みになります。

○戸籍の届出は？

- 出生届、婚姻届など戸籍の届出は？
年末年始も市役所当直室でお預かりします。
- 死亡届は？
通常どおり受付します。

○水道のトラブルや急病は？

- 水道のトラブルは？
16ページの水道工事当番店へ連絡してください。
- 急病は、歯痛は？
17ページの休日当番医、休日歯科医へ連絡してください。

○美濃病院の診療は？

休診日は一般診療を行いません。ただし、救急患者の受診は可能ですので、事前に美濃病院(☎33-1221)へご連絡ください。



◆年末年始の可燃ごみ収集日程

	令和4年12月			令和5年1月					
	29日(木)	30日(金)	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)
月・木曜日 収集地区	年末最終収集日	← この期間は、ごみの収集をしません →						年始最初収集日	収集しません
火・金曜日 収集地区	収集しません	年末最終収集日	← この期間は、ごみの収集をしません →						年始最初収集日

ごみの収集・クリーンプラザ中濃へのごみの持ち込みについての問い合わせは、市民生活課(内線176~178)まで。

○ごみ出しはマナーを守ってください

- 年末はごみの量が非常に多くなるため、収集作業に支障が出る場合があります。日程を分散してのごみ出しにご協力をお願いします。
- **ごみカレンダー**のルールを守って収集日の午前8時30分までに出示してください。収集日以外や収集時間以降に出されたごみなど、**ルール違反のごみは収集しません**のでご注意ください。

○クリーンプラザ中濃への持ち込みについて

- **12月30日(金)午前中**までは通常どおりごみの持ち込みができます。
※クリーンプラザ中濃へのごみの持ち込みは、市民生活課で手続きが必要です。
12月28日(水)までに市民生活課で手続きを行ってください。

